

## 平成25年度事業計画書(H25.4.1～H26.3.31)

平成24年度、当財団におきましては、44社の賛助会員はじめ多くの皆様のご支援を得て、設立20年記念誌「骨粗鬆症財団 20年のあゆみ」の発行、10月20日の世界骨粗鬆症デーに合わせた、市民公開講座「ご存知ですか？骨の健康」の実施、「IOF 3rd Asia-Pacific Osteoporosis Meeting in Kuala Lumpur」での出展等、様々な事業を実施致しました。

平成25年度は、第2回目の市民公開講座、24年度から継続の「骨量測定拡大キャンペーン」をはじめ、財団主催・共催による講演会、フォーラムの開催を特に積極的に行います。さらに、骨粗鬆症と生活習慣病、ロコモティブシンドロームとの関連性を念頭に置きながら、マスコミの活用に入力したいと考えております。大変好評を博している「DXAIによる骨量測定講習会」の全国展開も継続して行います。

IOF(国際骨粗鬆症財団)関連では、2年に1度のPatient Societyが本年5月、フィンランド(ヘルシンキ)にて開催され、財団としても参加者の派遣を計画しており、12月には香港で開催される第4回IOF Meetingにも出展を考えております。IOF傘下の団体として、今後ますますIOFとの情報交換を密にしていく予定です。

### (1) 普及・啓発事業

#### イ) 骨粗鬆症に関する資材・資料の作成

- ・一般啓発資材作成
  - ①運動:年代に応じた無理のない運動の奨励
  - ②栄養:カルシウム+ビタミンD+ビタミンK
- ・リーフレット「骨量測定の意義(仮)」(骨量測定拡大キャンペーンの一種)  
保健所等で利用できる節目健診受診者増に向けての資材
- ・骨粗鬆症治療薬一覧(下敷き型)
- ・ポスター「2013世界骨粗鬆症デー」
- ・骨量測定装置設置先名簿(2013年12月現在)

#### ロ) 財団ホームページの刷新・内容充実

- ・コンテンツ全体の見直し
- ・財団活動状況の紹介を増やす(開催講演会・イベント、各骨を守る会、IOF関連 等)
- ・FAQの見直し(内容改訂、追加・削除 等)
- ・病医院掲載先の見直し(新規、掲載中止の確認)
- ・Q&Aの対応継続 (参考:平成24年4月1日～平成25年3月31日・105件)

#### ハ) 財団主催・後援によるフォーラムの実施

- ・第2回市民公開講座の開催(平成25年10月19日(土)、東京都練馬区内ホール)
- ・「骨量測定拡大キャンペーン2013」の実施
  - 第2回メディアセミナーの実施
  - 秦万里子さん(ピアニスト)コンサート(市民公開講座の第2部、あるいは単独実施)
  - 全国自治体健康推進課対象のアンケート(担当者向け骨量測定啓発勉強会の実施に向けて)
- ・「世界骨粗鬆症デー」街頭大型ビジョン(Hot Vision銀座)で啓発映像の放映  
ポスターと同テーマにて10月の1か月間放映  
映像はホームページにも掲載
- ・地域骨を守る会の支援・連携の拡大
  - 講演会等に対して補助金支援
  - 財団ホームページへの「骨を守る会」として掲載する等の支援
  - 第3回「全国骨を守る会連合会」の開催

- ・財団後援イベント  
「骨ケアサミット座談会」、「骨げんき！寝たきり防止キャンペーン」等
- ・財団役員・評議員による一般市民に対する啓発講演会の開催  
「健康博覧会」をはじめ、「骨と関節の日」「骨の健康づくりセミナー」等

ニ) 財団ニュースの発行

- ・年2回発行(5月、12月)

ホ) 教育ゼミナールの開催

- ・年2回開催(次回第60回:7月26日(金) 於 AP東京八重洲通り、第61回:11月)
- ・講演記録集の発行(第59回、第60回)、骨粗鬆症学会での配布

ヘ) 骨量測定法講習会の開催

- ・「精度よくDXAで骨量測定するための講習会」(第8回～)
  - \*25年度:東京、大阪、福岡、札幌、名古屋などで5回開催予定
  - \*刊行本「図説 DXAによる骨量測定 腰椎と大腿骨近位部」(24年度制作)の全国への普及
- ・ISCD/IOFTトレーニングコーステキスト翻訳、活用(骨粗鬆症学会と協力)

ト) 女子中高生と母親の啓発活動

「成長期にある子供とその母親の骨密度強化啓発と親子の相関性調査」(聖マリアンナ医科大学、清水弘之先生)の支援継続

(2) 研究助成事業

イ) 財団による研究助成事業

- ・平成25年度(第21回)選考(一般課題5)
- ・平成26年度(第22回)助成募集(指定課題1、一般課題5)
  - 募集:平成25年10月～11月
  - 研究期間:平成26年4月～平成27年3月
- ・次任期選考委員(留任):遠藤直人、岸本英彰、五來逸雄、杉本利嗣、三木隆己、米田俊之先生

ロ) 第10回リリー研究助成プログラム(研究期間:平成26年1月～12月)

- ・10題の選定(80万円)
- ・次任期選考委員(留任):井上哲郎、堂地 勉、松本俊夫、藤原佐枝子先生
- ・募集:平成25年7月～8月

ハ) 第7回旭化成研究助成プログラム(研究期間:平成26年4月～平成27年3月)

- ・8題の選定(50万円)
- ・次任期選考委員(留任):林 泰史、太田博明、細井孝之先生
- ・募集:平成25年9月～10月

(3) 調査・研究事業

イ) 国庫補助金研究事業

- ・平成25年度 厚生労働省老健局「老人保健健康増進等事業」への申請

ロ) FRAX®の評価・検証事業

- ・WHOが推進しているFRAX®(Fracture Risk Assessment Tool)の日本への適応検証  
(アンケート結果による資料作成等)

※参考(平成24年度事業)

オステオポロシス ジャパン 2013年度1号掲載

『FRAX®に関するアンケート調査』—骨粗鬆症診療に積極的に携わる医師に対する認知度  
および活用状況調査—

ハ)骨粗鬆症治療薬の服用に関するアンケート調査

「HAPPINESS-J Study」平成24年12月～平成26年11月:2年継続事業  
調査依頼医療機関:目標10,000例、2,000施設  
1例10,000円(5,000円/1回×2回)

#### (4)情報収集&ロビー活動

イ)IOFとの情報交換&連携強化

- ①Business Meeting IOF/ECCEO13:European Congress on Clinical and Economic Aspects of Osteoporosis and Osteoarthritis(ローマ、2013年4/15～20)折茂理事長 出席
- ②IOF Asia-Pacific Regional Meeting(香港 2013年12/12～15)への出展
- ③Patient Society(ヘルシンキ、2013年5/31～6/1)へ鈴木敦詞先生参加

ロ)行政情報収集&ロビー活動

・健康局生活習慣病対策室の実施する骨粗鬆症検診事業への協力

ハ)健康日本21推進全国連絡協議会との情報交換

ニ)関連学会との情報交換&連携強化

(5)その他